

道州制・地方財政制度調査検討会
第8回 地方財政制度分科会 結果概要

日時：平成20年3月3日(月)
13:30～14:15
場所：議事堂5階501委員会室

出席委員：前野和美分科会長、館直人座長、津村衛委員、西塚宗郎委員
杉本熊野委員、小林正人委員、中嶋年規委員
欠席委員：森野真治委員、永田正巳委員

1 報告書(案)について

前回の委員間討議をふまえて修正した報告書(案)を提示し、前野分科会長から説明したところ、委員間の合意が得られたほか、詳細な点について以下のとおり委員間討議がなされた。今回で分科会としての開催は最後とし、次回の道州制との合同検討会において、修正が反映された報告案を提出することとされた。

(1ページ 1.(2)について)

西塚委員

序文に「平成21年までに」とありますが、「平成21年度までに」ではないでしょうか。

前野分科会長

平成20年度決算を基に財務諸表を公開するということですので、「平成21年度までに」と変更します。

(3ページ 3.(2)について)

西塚委員

「国における以上に、」とありますが、この表現でよいでしょうか。

前野分科会長

地方自治体には、国にはない住民監査・住民訴訟制度が存在していますので、その違いがあるということを書いています。

(3ページ 4.(1) について)

中嶋委員

「財政に関する資質の向上」とありますが、「資質」よりも「知識」などの言い回しの方がよいと思います。タイトルと同じで「分析能力の向上」でいかがでしょうか。

前野分科会長

「分析能力の向上」で修正します。

西塚委員

「議会全体としても」とありますが、「も」は必要でしょうか。

小林委員

個々の議員と議会全体の2つがあるので、「も」はあった方がよいかと思
います

杉本委員

タイトルに「議員の」とありますので、付加的に、という意味で「も」は
あってもいいと思います。

前野分科会長

「も」は入れたままとします。

杉本委員

「将来世代の負担を考慮した意思形成が可能となるよう」では、今は不可
能であるということを前提としていますが、よいのでしょうか。

館委員

「意思形成が図られるよう」といった方が適切かと思えます。

前野分科会長

「意思形成が図られるよう」とします。

(3 ページ 4 . (1) について)

西塚委員

「財政に関する説明会の実施」とありますが、ここまで書ききることか、個々
の議員でそれぞれ説明していくということでしょうか。

前野分科会長

これは、平成18年11月の「住民自治セミナー」において財政に関する
問題を探り上げたことがありますので、これをイメージしています。

事務局

会期が2会期制となり、本会議や委員会での議論を充実させていくという
方向ですので、基本は、本会議や委員会での議論を通して、県民への説明責
任を果たしていくということではいかがでしょうか。議会の活動は、本会議
と委員会が基本ですので。

前野分科会長

説明会に関する部分を削除し、議会の基本的活動の中で説明責任を果たし
ていく、という趣旨に変更します。

(4 ページ 4 . (2) について)

中嶋委員

最後の部分で「県民にとって分かりやすい財政情報の提供に向け、改善に

向けた努力を継続していくことが求められる。」の部分も、もう少しすっきりと「財政情報の提供が望まれる。」でいいと思います。

前野分科会長

「財政情報の提供が望まれる。」とします。

中嶋委員

「望まれる」では少し弱い気がしますが、道州制とトーンを合わせるなど検討をお願いします。

(4 ページ 4 . (2) について)

杉本委員

タイトルに「多様化のための研究」とありますが、多様化が目的のように聞こえるので、「多様化についての研究」ではどうでしょうか。

西塚委員

「多様化に向けた」ではどうでしょうか。

杉本委員

「向けた」でも、方向性を決めています。「について」だと現状認識が弱くなってしまうのでしょうか。

西塚委員

多様化に向かっていくことは否めないと思います。今直ちにということではないですが。

前野分科会長

「多様化のための」のままとします。

3 次回の日程について

日時：3月6日(水)午前10時から

場所：議事堂6階601委員会室(予定)

内容：各分科会からの報告